

残りの者
シャーアル

石巻祈りの家NEWS LETTER 「シャーアル」(118号)
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号
TEL /0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp
振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部 一
●代表/阿部 一 ●副代表/菊池せい子

信仰:神のNudging(促し)

● 主の2018年、明けましておめでとうございます。

- 昨年一年も神の憐れみと皆さんの祈りと支えによって、お陰様でこの小さな群「石巻祈りの家」も開所から10年目の教会活動と地域教会と協力しての被災者に寄り添う活動を継続できたことを深く感謝申し上げます。
- 皆さんは、どんな希望を持って新しい年をスタートされたのでしょうか。健康が守られ、主の恵みと祝福の中で一日一日を感謝を持って過ごされますようにお祈りいたします。
- 私は、クリスチャンになった時に、先輩から「良く祈っても、右か左の選択で悩むときは、自分にとって不利な方を選べ」と教えられてきました。
- それは、自分の利益を優先しないという論しだと思って、いつも心に留めてきました。このことを通して、不思議なことに教え切れないほどの神の促し (Nudging) を経験してきました。
- 職場でも教会生活でも、責任を伴う大きな決断をしなければならない時に、その度、そっと肩にpush onではなくsoft touchを感じ、その肩越しに静かなささやきを聞きました。
- 人間的に考えれば、多くは極めて不利なものを選ぶことになるのですが、その促しに押し出されて選択をした時の平安は、皆さんに理解していただけるかどうか分かりません。
- 驚くことは、そのささやきは確かな形で明らかとなったことです。そして、不利な道と思われるその道を歩んで行く中で、思いも寄らないほど多くの方々の助けの手が延べられ、以前に優る恵みを沢山体験できたことです。
- その過程では、その選択によって相手と徹底的に闘わなければならないときもありました。私の意図を理解してもらうために真剣に向き合ってください方は、その後私に大きな味方になって下さいました。
- しかし、残念ながら立場やメンツで自己主張をし、時には権威を振りかざして支配しようとした方は、その結果が明らかにされて責任をとらされたり、社会的な問題となり、職を辞さなければならない人もいました。
- 今、社会では会社や個人の不正や隠蔽が明らかにされ、TVを賑わし、そのためにその会社や個人が大きな責任を問われて、会社の経営が危うくなったり、職を辞さなければならないケースが出ています。
- 教会もクリスチャンも例外ではなく、むしろさらに厳しい神の目が注がれていることをしっかり認識し、私たちに与えられている良心やみことばの警告の促しに、身を低くして謙遜に聞き従う必要があります。
- 教会も個人も、黙示録の7つの教会への手紙に照らし合わせ、自己点検する「聖」への渴望の姿勢が問われています。
- 私たちが、「神の再創造の計画」のよき証人として用いていた1年となりますように。

■ 先月の多くの恵みから

- ① 12/6に博多ニューライフ教会の元菊枝姉と高原姉・南里姉が地域の婦人へのクリスマス・ツリー製作奉仕をして下さいました。参加された方々に大きな喜びとなりました。
- ② 12/11の「楽しい手芸の会」にて、この会の発足のきっかけを作った下さったCole師夫妻と寺下姉が参加して下さい、作業後に楽しいお交わりが出来ました。
- ③ 12/14のクリスマス礼拝は、例年通り石巻山城町教会で合同礼拝をさせていただき、礼拝後の「すき焼き」での祝会も一緒にさせていただき感謝しました。



しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。ヨハネ16/13

12/6 元 菊枝姉チームのクリスマス・ツリー製作で作品完成後に

- ④ 12/5に、クリスチャン画家の渡辺総一ご夫妻より、クリスマスの絵葉書、藍染め布と丁寧な励ましのお手紙をいただきました。
- ⑤ 12/8には長野の濱先生より、12/9には柳沢京子姉より青森のリンゴを送って頂きました。
- ⑥ 12/11に、ICCC(石巻中央キリスト教会)の黄家琦姉と石川師に夕食の招待を受け、夜遅くまで祈りと共に今後の石巻宣教の課題などについて有益で率直な意見交換ができました。
- ⑦ 12/17に、前川晶子姉が祈りの中で与えられた生まれて一ヶ月の愛娘「愛結実」ちゃんを連れて礼拝に参加下さり、我が群での最年少礼拝参加者の記録を作りました。
- ⑧ 1/21の礼拝ではメンターのSBS(仙台バプテスト神学校)の森谷正志師がメッセージと主の晩餐のご奉仕をして下さることが決まりました。
- ⑨ 12月も、教会活動や支援活動の献金、さまざまな献品、クリスマスカード、電話やメール、訪問で多くの方々から励ましをいただき教会活動を支えて頂き感謝しました。
- ⑩ 12/10に本庄キリスト教会の吉田 孝師ご夫妻より名産の「深谷ネギ」を送って頂き、会員や求道者、近所の方々にお裾分けをして大変喜ばれました。

■ 今月、次の課題を祈っていただければ幸いです。

- ① 自宅で療養中の大平姉、求道中のガンと闘っている今野かつ子さん、千葉信一兄(盛岡BBC会員で石巻に勤務)のご家族と兄の健康のために。
- ② 新しく開拓を始めた教会に、その教会を支える地元の家族が救われるように、3.11追悼記念会の準備のためにお祈り下さい。

群の定期集会	
・礼拝 (毎週日曜日)	10:00-11:30
・祈り会 (毎週水曜日)	10:00-11:30
・聖書を読む会(第1火曜日)	10:30-12:00
・ほっと・Time (第3火曜日)	10:30-12:00
・コーラス「花」(第2,4木曜日)	13:30-15:00
・楽しい手芸 (第2,4月曜日)	10:00-12:00
・学習支援 (地域の子どもにの要望に応じて)	

信仰を詠う

1月 健忘症の日々

委ねると言に乗せる軽やかさ
おとつき 乙月の雨 ザクリと背中打ち

みことばの織り込む布を粧おひて
シャナリ起ちたい夢のファッション

チャイコフスキー車内を巻いて鳴り響く
むなど 胸処疼きて青春の飛び込む

阿部 八重子

この頃はもの忘れ・アレツ?・言葉が出ない・あの沈黙・の「症候群症」。短歌ももともと変なのにもうメチャクチャ。ゴメンナサイ。

11月末から12末までに来訪された先生・兄姉/「祈りの家」の地区教会活動との関わり



11/30 ICCでの11月のIMN

12/3「希望の家」でクラシックコンサート

12月に入り、キルトでのクリスマスの装飾

掲示板にクリスマス・シーズンの案内



12/6 博多ニューライフ教会の元菊枝姉・高原姉・南里姉がクリスマス・ツリー製作の奉仕

12/6 午後には女川視察で「絆フレンド」訪問、駅前でのスナッフ



石巻にも本恵的な冬が

12/10 口ヒヤンガ後援会に参加

本庄CCより深谷ネギ献品

12/11 コール師夫妻「手芸の会」訪問

12/18「手芸の会」クリスマス

アドナイ・イルエ

「アドナイ・イルエ」＝主の山に備え在りの意

信仰の歩みの中で

このコンピュータ時代に

キリスト教会「石巻祈りの家」代表 阿部 一

私が最初にコンピュータに出会ったのは、54年前の1964年のことである。日本も敗戦の痛手から3年間にわたる朝鮮戦争の軍需景気によるたなぼたの経済復興を足がかりに、高度経済成長時代に突入した。アメリカとソ連の冷戦の中で、1957年にソ連がスプートニクを打ち上げ、驚愕したアメリカが科学教育に力を入れ、その影響で日本でも科学教育の現代化が叫ばれ、各県に数校の工業高校が新設された。私は、その1964年に分離・新設された酒田工業高に赴任した。その高校には「工業計測科」が新設され、教室1つ分を占領し、常にエアコンで室内温度を一定に保たれた大きな箱型コンピュータがあった。当時は、紙テープにパンチで穴を開け、それを読み取らせてデータの演算や解析をおこなっていたようだ。そして、1974年宮城県に転勤した高校の商業科にタイプライター型のコンピュータが導入され、ワープロや表計算の実践に利用され始めた。

私は、教師になってから教科書を使わず、その高校の生徒のレベルに合わせた自作テキストを作成し授業をしてきた。1970年頃までは、毎日夜遅くまで次の授業のために「ガリ切り」に取り組んでいた。原稿を塩ビに焼き付けて原紙を作り印刷する時代になると、原稿さえしっかり作れば手軽に印刷でき、ひたすらガリ切りをする労苦から解放された。その後、ワープロが出始めたけれどもテキストに図や表を入れるのが難しく、図や表は切り貼りしてテキストを作成しなければならなかった。

その後、何年かはこのテキスト作りに日本語のタイプライターを使用した。1990年私が丁度50歳の時、勤務校にMacintoshを操作する生物担当の先生が転勤してきて、そのコンピュータの威力に驚いた。そして、これからはコンピュータ時代だと予感し、この機会を逃せばコンピュータ操作を覚えることができないと考えた。同じMacintosh Classicを購入し、その先生に操作を覚えてもらった。2MBのフロッピーを入れて操作するものであったが、驚くなかれ、その値段が何と30万円以上もしたのである。当時 Windowsも販売され始めたが、編集した画面とプリントアウトした画面が一致せず、その操作でもマックの比ではなかった。

1年後には、作動の遅さに耐えきれず、その上のものをスキャナーや560MBのハードディスク、幾つかソフトと購入したが、その価格は当時の小型車が優に買える値段であった。



教師の中には「今さらコンピュータなんて」という抵抗が強く、県がこれからの時代のためにMacとWindowsの両方のコンピュータ各学校に配置した。「上海」というゲームソフトが入れてあり、空き時間にゲームをしている者がいると教頭が注意するほど、県の作戦は浸透していった。

担任教師にとって大変な作業の1つに「成績一覧表」の作成がある。生徒個人の各教科の成績の一覧を作り、平均点や順位を付ける作業である。多くの先生はそろばんで、わずかな教師が漸く出始めた電卓で膨大な数字の計算をするが、その縦・横の総数がなかなか一致しないから、何時間もの時間がかかり苦勞した。ところが、コンピュータは数字さえ入力すれば、一瞬にしてその表計算をしてくれた。

この2台目のMacでは、図を取り込んでのテキストの作成、実験データの整理、英語の化学教科書の私訳、論文の作成の他、教会の記念誌編集にも威力を発揮した。高齢になって小さな文字が読めなくなることを考えて聖書1冊丸ごとを5年かけて、スキャナーにかけ読み取り、聖書と同ページになるように編集した。だが、コンピュータの進歩は急速で、その作業が終わったころには聖書のソフトが販売された。

現在用いている私の相棒のMacは9代目である。このMacだけでなく、iPhoneにも英語対訳聖書や読めもしないのにギリシャ語やヘブル語の聖書やLiving Bibleも入っていて、クリック1つで直ぐ呼び出せる。百科事典やWikipedia等であらゆる分野の情報が瞬時に入手できる。メールでの連絡や映像を通してのメッセージや音楽も楽しめる。顔を見ながら電話も出来る。「こんな便利な助っ人が30年前にあったならば、もっと深い学習が出来たのになあ」と、時々77歳になった私は嘆息している。

この意味では、今の若い人達はいつでも分らないことを即座に検索し、学べる恵まれた時代にいる。30年前には想像も出来なかったことだ。iPhoneで聖書を持ち運び、いつでも、どこでも読める(コンピュータが聖書を読んでさえくれる)し、メッセージも開けるのである。

人間の作業の多くの部分が人工頭脳を持つロボットに取って代わって行くことは目に見えていて、ロボットに人間が使われる時代に突入している。ここで、私たちは、神は何故人間を創造されたかの原点をしっかりと捉えておかなければならない。神から与えられている「選択の自由権」を自覚し、その権利を保持しなければならない。心から神の御旨にしたがって歩むことを忘れたら、最早「人間」ではなくなるのではないかと案じている。同僚Mac君と共同作業をしながらそんなことを考え、新年に入ると開所11年目を迎えるこの群に、神がどんな歩むべき道を指し示して下さるかを期待して待っている。